



助産師レター



滋賀県看護協会助産師職能委員会 VOL. 35 平成 29 年 9 月

初秋の候、朝夕が涼しくなってきました。皆さんいかがお過ごしですか？

周産期医療・母子保健を取り巻く社会情勢は近年大きく変化し、私たち助産師に期待される役割も多様化しています。その中で、私たちが必要としている妊産婦さん、赤ちゃん、地域の方々、同じ看護職や多職種の方々がいかに多いかを実感している今日この頃です。

今年度も職能委員会の活動にご協力・ご支援をお願いいたしますとともに、この助産師レターでも様々な情報を発信していきますので、ご活用いただければ幸いです。

(吉岡 委員長)

職能委員長会報告



平成 29 年度 全国助産師交流集会

平成 29 年 6 月 8 日（木）全国助産師交流集会が東京ベイ幕張ホールで開催されました。前日の通常総会において日本看護協会会長に就任された福井トシ子氏より、「助産師はお母さんと家族のパートナーです。ケアを必要とする人々へ、適時、適切なケアを提供するために必要な能力を備え、全国の助産師の皆さん、頑張ってください！」と熱いエールをいただきました。

平成 29 年度 助産師出向事業推進会議

平成 29 年 7 月 24 日（月）日本看護協会 JNA ホールで助産師出向事業推進会議が開催されました。助産師の就業先偏在の是正や助産実践能力強化支援をさらに推進していくために、全国 37 都道府県から 67 名の参加がありました。

日本産婦人科医会の木下勝之先生から「助産師出向における期待」と題して講演がありました。その中で、我が国のお産は病院と診療所が約半分ずつであること、産婦人科医は微増しているが、分娩を扱う産科医師は減少傾向にあること、さらに分娩を取り扱う助産師の充足率は病院に比較すると診療所は 1/2 と低いことを報告され、助産師の出向は必要と主張されました。当県におきましても、現在 4 名の助産師が 2 施設に出向するためマッチング中です。

平成 29 年度第 1 回 全国職能委員長会報告

平成 29 年 8 月 2 日（水）

TKP 市ヶ谷カンファレンスセンターにて開催

午前中の全体会議では、執行部より、平成 29 年度の重点政策・重点事業の説明がありました。

助産関連の重点政策・重点事業では、今年度から助産師職能委員会の担当になられた常任理事の吉川久美子氏から報告がありました。ポイントだけを下記に提示します。詳細は日本看護協会ホームページにも掲載されていますのでご覧下さい。

1. 妊娠期から子育て期までの切れ目のない看護・助産機能の強化 2. NICU/GCU を退院する児とその家族の支援に関わる看護職の育成 3. 災害発生時に対応する周産期における体制整備と情報発信です。

福井会長は「第 4 回フローレンス・ナイチンゲール記章授与式」に出席されました。メッセージとして、平成 30 年 4 月からの第 7 次医療計画において、看護の視点を盛り込んで発言しないと地域差がどんどん出てくるということです。滋賀県の周産期医療においても現場の声に耳を傾けながら助産師職能委員会の活動に役立てていきたいと思っています。

また、今年の 3 月には、厚生労働省地域医療計画課長通知において、医療体制構築に係る現状把握のための指標例に、アドバンス助産師の数が明記されました。国の施策ににおいても期待されていることが伺えます。



看護学校進学説明会

平成 29 年 7 月 28 日 (金)

近江八幡市 G-NETしがにて開催

高校生以上で看護専門学校や看護系

大学の進学を考えている人を対象に、進学説明会がありました。助産師のブースには約 10 名余りの学生さんが来られ、助産師になるにはどういう進路を進めばいいのか、どのような学校があるのか、奨学金についてなど質問がありました。

相談ブースには分娩介助場面の写真パネルや分娩された方々のメッセージを展示し、相談に来られた方へは興味を示されていました。(岡田 幸栄)



<今年度の助産師職能委員会活動状況>

研修会を開催しました!

※ 平成 29 年 7 月 5 日 (水)

テーマ:事例から学ぶ!胎児心拍数モニタリングの判読とリスク診断

講師:滋賀医科大学:石河颯子先生

参加人数は37名で21事例をもとに大変わかりやすかった!と大好評でした。先生には次年度もお願いしてまーす。

※ 平成 29 年 8 月 8 日 (火)

テーマ:安全な出産のために!医療者の役割について考えよう

講師:神奈川県立保健福祉大学:村上明美先生

参加人数ですが、びわ湖大花火大会とも重なり24名と少なかったですが、産科補償制度についても深く知ることができ、現場に活かせる研修でした!



平成 29 年度助産師キャリアアップ 応援事業研修

第 1 回開催 平成 29 年 7 月 14 日

滋賀医科大学医学部附属病院 1FD 棟 多目的室

研修目的は「助産技術のレベルアップ、卒後のリアリティショックの緩和、新人同士の交流、助産師リーダーレベル新人、レベル I のマタニティケア能力が理解できる」です。今年度は県内から 17 名のフレッシュな助産師が参加しています。

午前中は開講式に続いて助産師リーダー、マタニティケア能力の説明を受け、1年間の到達目標を確認しました。その後「どんな助産師になりたいか」をテーマに和気あいあいとした雰囲気の中で話し合いが持たれました。午後は新生児蘇生法の講義を受け新生児アルゴリズムに沿って蘇生法の習得に熱心に取り組まれました。日々の助産業務から開放されてリラックスしながら、交流を深められていました。(塩 成子)



~研修会のお知らせ~

平成 29 年度近畿地区助産師職能合同研修会

日時:平成 29 年 12 月 2 日 (土) 13:15~16:30

開催場所:佛教大学 二条キャンパス

テーマ:①「アドバンス助産師に期待すること」
②「母体感染のリスクと対応」

講師:① 福井トシ子 日本看護協会会長

② 飯野江利子 大阪急性期総合医療センター 感染管理認定看護師

※クリカルリーダーレベルⅢ認証申請に活用可能な研修です。9月中旬に各施設へ案内を郵送いたします。また、滋賀県看護協会ホームページにも掲載いたしますので、たくさんのご参加お待ちしております。



平成 29 年度 助産師職能委員です。
よろしくお願い致します。

